

平成 24 年度事務事業評価調書

事業コード	02040352	区 分	<input type="checkbox"/> 実行	<input checked="" type="checkbox"/> 経常
事務事業名	老人医療費支給事業	担当部署名	住民課保険年金グループ	
		作成責任者職氏名	課長 尾谷 肇	内線 310
第4次総合計画体系	(基本柱)	(基本施策)	(細施策)	
	02健康・福祉	04高齢者福祉の推進	03介護予防・生活支援サービスの提供	
実施期間	<input type="checkbox"/> 単年 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (昭和46年度～ 年度)		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助等
根拠法令等	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	法令等の名称	老人医療費の助成に関する条例	義務付け <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

I 事務事業の概要<Plan>

(1)事務事業の目的及び内容	(2)対象(誰を対象とするのか)
<p>①目的</p> <p>老人の健康の保持及び福祉の増進を図る。</p> <p>②内容</p> <p>高齢者に対し医療費の一部を助成する。</p>	<p>65歳以上で、健康保険に加入している人（所得制限あり）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体障害者手帳1級または2級の人 ・重度知的障害者 ・中度知的障害者で身体障害者手帳を持っている人 ・特定疾患治療研究事業に該当する人 ・精神の通院治療を受けている人 ・結核の治療を受けている人 ・ひとり親家庭に該当する人
(3)期待される効果(本事業によって対象者をどのような状態にしたいのか)	(4)事務事業を進める上での課題や問題
<p>老人が必要な医療を容易に受けることができることにより、病気に対する不安の解消、疾病の早期発見、回復、健康指導等、安定した老後生活を確保する上において効果がある。</p>	<p>制度対象の勧奨については、広報紙等の掲載により啓発しているが、対象基準要件の関係であくまでも本人申請待ちの状況。</p>

II 事務事業の実施<Do>

(1)事務事業の事業費及びコスト費								
		22 年度	23 年度		24 年度	25 年度		
		実績	事業費(予算)	実績(見込)	事業費(見込)	事業費(見込)		
事業費(見込含む)(千円)(A)		16,117	15,546	11,800	13,361	13,361		
財源内訳	国庫支出金							
	府支出金	8,034	7,751	4,552	6,659	6,659		
	分担金・負担金							
	使用料・手数料							
	起債							
	その他の特財							
	一般財源	8,083	7,795	7,248	6,702	6,702		
人件費	一般職員所要人員(人)(B)	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30		
	一般職員人件費(平均給与×(B))(千円)(C)	1,865	1,865	1,865	1,865	1,865		
総コスト費(千円)(A+C)		17,982	17,411	13,665	15,226	15,226		
人口あたりコスト(円)		2,918	2,825	2,217	2,471	2,471		
(2)成果指標等								
番号	指標区分	指標名称	単位	23 年度			24 年度 目標値	25 年度 目標値
				目標値	実績値	達成率(%)		
①	目標指標							
②	目標指標							
③	目標指標							

III 事務事業の評価<Check>

(1)成果の自己検証		
評価項目	評価結果	評価の理由及びその考え方
①妥当性 ※施策の目的が村の政策体系に貢献しているか	4 4. 大いに貢献している 3. 概ね貢献している 2. あまり貢献していない 1. 貢献していない	医療費を助成し、受益者負担の軽減を図り、健康の保持及び福祉の増進を図る。
②有効性 ※期待された効果が得られているか	4 4. 効果がある 3. 一応の効果がある 2. あまり効果がない 1. 効果がない	老人の医療費の一部負担分の一部を助成することで、受益者負担の軽減を図り、健康の保持及び福祉の増進を図る効果がある。
③効率性 ※効率的に進められているか	4 4. 非常に効率は良い 3. 概ね効率は良い 2. あまり効率は良くない 1. 効率は良くない	府内での医療機関の受診の場合は、一部負担の一部を負担するだけの現物給付
④公平性 ※受益や負担が公平になっているか	3 4. 公平である 3. 概ね公平である 2. 少し偏りがある 1. 公平ではない	特定の者を対象としているが、受益者以外の村民から見ても理解を得られやすい。

○事務事業評価値 (①~④の合計/16) **15** / 16 **94%** (B)

(2)検証結果			
目標指標評価値 (A)	事務事業評価値 (B)	総合評価値 (A)+(B)/2	評価ランク(改善の目安)
#DIV/0!	94%	#DIV/0!	a: 90%以上(現状維持又は拡充) d: 30~49%(休止・廃止又は縮小) b: 70~89%(見直し又は現状維持) e: 30%未満(休止・廃止) c: 50~69%(縮小又は見直し改善)
			a

IV 事務事業改善の方向性<Action>

(1)改善の方向性	
①改善の方向性(自己評価)	②改善の方向性の理由、改善する上での具体的な改善策や課題等
B ← A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止	早期に治療を促進することで病気の早期発見、早期治療につながり、治療費の抑制に導くため、引き続き実施する。

V 事務事業評価結果(担当者は記入しないでください。)

(1)政策担当結果		
(2)第三者による有識者会議結果	(3)行政経営戦略会議結果	
高齢者の健康維持、福祉の向上に必要であり、継続して実施すべきと考えるが、高齢者の医療制度そのものが変更される際、見直しが必要と考えられる。	B A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止	B A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し

度そのものが変更される際、見直しが必要と考えられる。

U	U: 元通り
	D: 縮小
	E: 休止・廃止

(2/2)